

第3学年1組 学級活動(1) 学習指導案

北九州市立小石小学校

1 議題 「ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会の内容を考えよう」

2 議題について

(1) 児童・生徒の実態

本学級の児童(男子8名・女子9名)は、明るく元気のよい子たちである。4月の学級活動の時間に「どんな学級にしたいか」について話し合い、「やる気・本気・思いやり 3年1組」という学級目標を立てた。これまでの学級会では、「学級の歌を決めよう」や「夏パーティーをしよう」などの話し合いを行っている。過去4回の学級会では、最終的に意見はまとまったものの、時間以内に終わることができなかつたり、理由を付けて意見を言うことができず、発表できなかつたりしている。

また、「くらべ合う」「まとめる」では、否定的な意見が集まることが多く、「いいなと思ったものから意見を出すようにしよう。」「反対よりも賛成という言葉をよく使おう。」という声かけをしている。

これまでの学級会で、子どもたちは「司会」「副司会」「黒板記録」「ノート記録」のいずれかを経験してきている。しかし、発言を整理しながら話し合いを進めたり、出た意見に合わせて話し合いの流れを作ったりということは難しいため、適宜アドバイスをしながら進めていくという形にしている。

(2) 議題選定の理由

本議題は、「小石ちょうちん山かさのれきしや、楽のことを教えてくれた地域の方達にお礼がしたい。」という児童の思いから選定された。本校では、3年生の児童が総合的な学習の時間で小石ちょうちん山笠の歴史や、ちょうちん祭りを受け継いでいる人たちの思いなどを調べる学習をする。また、残念ながら今年は中止となったが、実際にお祭りに参加し、楽器も演奏する。先日、小石公民館の館長さんや小石ちょうちん山笠保存会の会長さん、地域の方々が子どもたちにちょうちん山笠の歴史を紙芝居にして紹介したり、たいこや笛、鐘のリズムを体験させてくださったりした。全3回の楽の体験を通して、子どもたちは楽しんで楽器を演奏することができた。それも、毎回丁寧に教えてくださった館長さんや会長さん、地域の方々のおかげである。「山笠や楽を受け継いでほしい。」という地域の方々の思いを受け止め、どのような形で返していくのか、学級でアイデアを出し合うことは、相手意識を高める点で有効であると考えられる。

3 目標

知識及び技能	○ みんなで楽しい学級生活をつくるために、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができる。
思考力、判断力、表現力等	○ 楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。

学びに向かう力、人間性等	○ 楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったりふり返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団生活に取り組もうとしている。
--------------	---

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○ 提案理由に沿った内容や意見を考えたり発表したりすることができる。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○ お礼の気持ちが伝わる方法について、自分と友達の意見を比べ合いながら考えたり、発表したりすることができる。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○ 合意形成したことについて、友達と協力しながら実践することができる。 ○ 話合いや集会をふり返り、自他のよさや頑張りを見つけることができる。

5 事前の活動

日時	学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
9月26日	1 計画委員会で議題を選定し、全員に諮り、議題を決定する。	○ 次の学級会の議題を意識することができるように、学級活動コーナーに掲示する。	【態】よりよい学級生活をつくるために、進んで議題を考えたり選んだりしようとしている。（行動観察）
9月27日	2 提案理由を基に柱を決める。	○ 提案者の思いが実現するように、計画委員と話し合い、決定する。	【態】提案者の思いを意識しながら、柱の内容を決めようとしている。（発言・行動観察）
9月28日~30日	3 議題、提案理由、めあて、柱を確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。	○ 意見や理由が書けない児童については、個別に声をかけて一緒に考える。自分の意見をもって話合いに参加できるようにする。	【態】地域の方々にお礼を伝えるという目的を考えながら意見を書いている。（個人ノート）
9月30日、10月3日	4 話合いの準備や練習をする。	○ 話合いをスムーズに進めることができるように、司会進行やノート記録の仕方などについて確認する。 ○ フロアの児童が意見を述べやすいように、全員の学級会ノートに目を通しておき、必要に応じて意見の仲間分けをしておく。	【思】計画委員会の役割を理解し、進んで取り組もうとしている。（行動観察）
10月4日	5 学級会のリハールを行う。	○ 話合いがスムーズにできるように、役割分担や司会・進行の仕方、黒板記録、ノート記録の仕方を指導する。	

6 本時の学習

(1) 日時 令和4年10月5日(水) 5校時 於 3年1組教室

(2) 主眼

「ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会」の内容について話し合うことを通して、お礼の気持ちが伝わるような内容について、自分と友達の意見を比べ合いながら考えたり、意見のよさを見つけながら発表したりすることができる。

(3) 見方・考え方を働かせている児童・生徒の姿


提案理由に沿って意見を考えたり、友達の意見のよさを見つけながら発表したりしている姿

(4) 準備

教師：黒板掲示用プレート(議題・提案理由・柱1・柱2など)、写真

児童・生徒：学級会ノート(全員)、話し合い計画書・学級会グッズ(計画委員会)

(5) 展開

第5回学級会 活動計画	
議題	ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会の内容を考えよう
役割	司 会 () () 黒板記録 () () ノート記録 () 提案者 ()
提案理由	公民館に行ったときに、ちょうちん山笠のことを教えてくれたり、たいこやふえのふき方を教えてくれたりしたから、何かおれいをしたいと思ったからです。
めあて	自分の考えに理由をつけて発表しよう
決まっていること	日にち：10月下旬 場所：小石小学校 プレゼントは、お礼の気持ちが伝わるもの、手作りできるものにする
学習活動	○ 指導上の留意点 【観点】 評価規準(評価方法)
1 はじめの言葉	○ スムーズに話し合いが始められるように、議題、提案理由、話し合いのめあてなどは事前に模造紙や短冊に書き、黒板に掲示しておく。
2 議題と提案理由の確認をする。	○ 提案者の思いや願いを学級全体で共有し、全員の問題であることを確認する。
3 めあての確認をする。	○ めあてに沿って話し合いができるように、全員で読んで意識できるようにする。
4 決まっていることの確認をする。	○ 決まっていることやキーワードを確認できるようにする。
日にち：10月下旬 (1時間) 場所：小石小学校 プレゼントの内容： ・ おれいの気持ちが伝わるもの ・ 手作りできるもの	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会 </div> <div style="text-align: center;"> <p>プログラム</p> <p>① はじめの言葉</p> <p>② めあてのかくにん</p> <p>③ 紙しばい</p> <p>④ プレゼントわたし</p> <p>⑤ 写真さつえい</p> <p>⑥ 吉田さんからのお話</p> <p>⑦ ふりかえり</p> <p>⑧ 先生の話</p> <p>⑨ おわりの言葉</p> </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会 </div> </div> 

5 話し合い 柱1 紙しばいの題名を決めよう	○ 意見を出しやすくするために、意見が出ないときは、小グループの話し合いを取り入れる。 ○ 意見が多い場合は、分類整理するために、短冊黒板を操作する。 【思】お礼の気持ちが伝わるプレゼントについて、自分と友達の意見を比べ合いながら考えたり、よさを見つけたりしながら発表したりしている。(発言)
柱2 どんなプレゼントにするか考えよう	
6 決まったことの確認をする。	
7 振り返りをする。	
8 先生の話	
9 今日の MVP の発表	○ ノート記録の発表に不足がある場合は、助言する。
10 終わりの言葉	○ 本時の話し合いの振り返り、事後の活動に向けての思いや、頑張りたいことなどを学級会ノートに記入する。 ◎ めあてや学級目標を意識した発言を称賛する。計画委員会をねぎらう。次の活動への意欲付けをする。

(6) A評価とB評価の様相

区分	様相
A評価 (十分満足できる状況)	お礼の気持ちが伝わる方法について、自分の意見と友達の意見を比べながら、より提案理由に沿う考えを表現できている。
B評価 (おおむね満足できる状況)	友達の意見や教師のアドバイスを受けて、提案理由に沿う考えを表現できている

7 事後の活動

日時	学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準(評価方法)
10月12日~	1 役割を分担し、「ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会」の準備をする。	○ 計画に沿って協力して活動できるように支援する。	【態】合意形成したことを基に、友達と協力して準備に取り組んでいる。(行動観察)
10月下旬	2 「ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会」をする。	○ 集会のめあてを意識し、自分の役割が果たせるように声かけをする。	【知】「ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会」の目的を意識しながら集会を実践している。(行動観察)
10月下旬	3 「ちょうちん山笠のみなさん ありがとう集会」の振り返りをする。	○ 友達と協力したことや、話し合いを通じて充実した集会になったことを認め、称賛する。	【態】集会をふり振り返り、自分や友達の頑張りを認めたり伝えたりしている。(ノート観察、発言)